

特集 生ごみを きちんと分別していますか

生ごみ分別収集を開始してから3年が経過しました。現在でも一般ごみの中に生ごみが混入していたり、生ごみの中に不適物が混入しているのが目につきます。今号では、生ごみを出す際のルールについて再確認したいと思います。

生ごみとは、台所で出る調理くず・食べ残し・残飯です。

生ごみは、家庭から出るごみ全体の2割近くを占め、平成25年では、年間約1,956トン（家庭系1,443トン、事業系513トン）が排出されています。本市では、生ごみを分別

回収し、リサイクルしています。

生ごみはどのようにリサイクルされているの？

ごみステーションから回収された生ごみは、バイオエネルギーセンターに集められます。そこで、微生物により自

然エネルギーである「バイオガス」に生まれ変わります。

バイオガスを同施設の電気や暖房として使用することにより、化石燃料を使用する必要がなくなるため、二酸化炭素の排出も抑制されます。

また、バイオガスから圧縮天然ガス（CNG）を抽出し、ごみ収集車の燃料としても供給しています。

最終残渣は肥料として農地や市民に無料で還元し、資源活用されています。このように、生ごみは大きく社会に役立っています。

一般ごみの中に生ごみの混入が多くみられます

一般ごみの中に生ごみが混入してしまうと、一般ごみと一緒に廃棄物最終処分場に埋め立てられてしまいます。

その場合、生ごみをリサイクルできないばかりか、廃棄物最終処分場の短命化に繋がってしまいます。生ごみ資源を再利用し、将来の世代のためにも、適正な分別にご理解とご協力をお願いします。



ごみステーションに出された生ごみ（奥は一般ごみ）



収集車は圧縮天然ガスを燃料としています



バイオエネルギーセンターに集められた生ごみ

生ごみを出す際の ルールの再確認

◆必ず生ごみ回収日に出してください

生ごみ回収の指定日以外に出すと、生ごみの臭いなどで近所迷惑になるばかりか、他のごみや資源物の回収の妨げとなります。

必ず、回収日の8時30分までに出してください。

◆指定の「生ごみ専用袋」以外は使用できません

生ごみは青色の「生ごみ専用袋」に入れてごみステーションに出してください。

専用袋は3リットル、6リットル、12リットルの3種類です。市内各取扱店で購入してください。



◆生ごみを専用袋に入れる際は、水切りをしてください

水分が入っていると、水漏れ等でごみステーションが汚れてしまう場合があります。管理している方に迷惑がかかります。

生ごみを出す際の ルールの再確認

袋の中に、キッチンペーパーや新聞紙などを敷いて、水が漏れないような対処をお願いします。台所で使用した紙類は生ごみと一緒に出すことが可能です。

◆水切りネットを利用する場合は：

生ごみを三角コーナーなどの水切りネットのまま「生ごみ専用袋」に入れることは可能です。

ただし、水切りネットをレジ袋やポリ袋などに入れて二重にして「生ごみ専用袋」に入れて出さないでください。



◆生ごみ専用袋に不適物を入れないでください

生ごみの袋に、アルミホイル、ビニール類、ラップ類、割り箸、竹串、楊枝、瓶のふたなどが混入しないように注意してください。また、野菜、果物、卵な

どについている産地表示、生産日、消費期限などのシールやテープは必ずはがしてください。

◆生ごみの袋はしっかりと口をしぼってください

生ごみがこぼれたり、水分が漏れないよう、袋はしっかりとしばって出してください。



◆生ごみとして出せるものと不適物を見極めかた

主な生ごみの分別については、左のページの「生ごみ分別早見表（一般家庭用）」でご確認ください。

◆事業者の皆さんへ

事業所から出た生ごみは、家庭から出た生ごみと一緒に回収できません。事業者自ら運搬するか、収集運搬業者と契約してください。詳細については問い合わせください。

問い合わせ／

市生活衛生課廃棄物処理グループ

☎2316437